

平成29年 年頭所感

国民生活産業・消費者団体連合会
会 長 清 水 信 次

明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、国民生活産業・消費者団体連合会を代表しご挨拶を申し上げます。

昨年も4月に発生した熊本地震をはじめ、全国各地で自然災害が多発しました。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早く通常の生活に戻られることを心よりお祈り申し上げます。

昨年5月に米国のオバマ大統領が被爆地の広島を初めて訪問し、原爆死没者慰霊碑に献花したことは、戦後71年で大きな節目ではなかったでしょうか。戦前・戦中・戦後を生きてきた私には感慨深いものがありました。また、英国のEU離脱決定や米国大統領選挙の結果等、これまでとは異なった価値観による判断が下された年でもあり、世界的に変化の大きい年でありました。

改めて我が国の将来を見据えるにあたり、世界の中の日本の立ち位置をしっかりと考えなくてはなりません。国内だけを見ると人口は減少を続けておりますが、世界の人口は今や74億人になろうとしており、増加の一途です。それに伴い、水・食糧・資源の問題や環境問題、更には自然災害等、課題は山積しており地球的な視野で物事を考えていかななくてはなりません。日本はこれまで幾多の困難を乗り越え、世界に誇る豊かな社会を築き上げてきた歴史を有しています。我が国の将来だけでなく全世界の将来のためにも、その経験値を存分に発揮していかなければなりません。

このような中、当連合会は、国民生活の安全・安定の確保と質の向上、関連企業の健全な発展への貢献を通じて、「国民の生活・生命を守る」という使命を追求し続けるという活動指針のもと、小さな枠に捉われることなく幅広い視野を持ち、事業者の利益ではなく生活者の利益を第一に会員一丸となって日本社会が抱える大きな課題である、「災害対策」、「食品廃棄問題」、「エネルギーと環境問題」、「人口減少・超高齢社会への対応」という4つの課題に対し当連合会ならではの方法で果敢に取り組みを進めているところです。お陰をもちまして、昨年12月に設立5周年を迎えることができました。これもひとえに関係各位の皆様方のご理解とご支援の賜と改めて深く感謝を申し上げます。また、設立5年を迎え基礎固めにも目途がついた今こそ、今後の更なる飛躍を期するため、会長職を後任に託すべきであると考え、これまで会長代

行として常に私をサポートして頂いた、株式会社ゼンショーホールディングス会長兼社長の小川賢太郎氏に次期会長を要請させていただいたところです。なお、本年、会長交代の手続きを行う予定であると同時に、私につきましても、新会長のサポート役として引き続き活動を続けさせて頂きたいと考えております。

皆様には、引き続き本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上